RESIDENT
PROGRAM INFORMATION

Saitama Medical University Hospital

Your Happiness is Our Happiness

埼玉医科大学病院

メッセージ【Message from Residents】

プログラム【Outline of Program】

協力型病院・協力施設【 Training Institutions】

指導体制【Style of Training】

施設紹介【Introduction of Facilities】

A 総合診療内科
General Internal Medicine

埼玉医科大学病院
臨床研修プログラム

初期研修の2年間は優れた臨床医として医師が一生を有意義に送るための土台となる極めて重要な時期であり、一人ひとりの研修医が本プログラムによって実り多い研修成果を達成することを期待いたします

メッセージ【Message from Residents】

【研修医からのメッセージ】

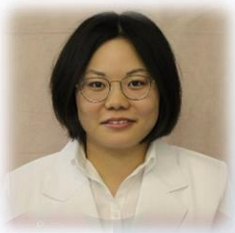
埼玉医科大学病院の手厚い指導体制の下、適切な診療技術を身に着けることが可能です。また、他大学出身でもスタッフ全体がアットホームな雰囲気で激励しあいながら研修できます。専門性の高い症例からcommon diseaseまで多彩な経験ができます。

【埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラムの研修医からのメッセージ】

当院を選んだ理由は専攻医や専門医の先生が多く、屋根瓦式の手厚く丁寧な指導の下、診療に携わることができるからです。当院には特定機能病院として専門性の高い疾患が集まる一方で、地域の一般的な疾患も扱うため幅広い症例を経験しながら知識や手技を身に着けることができます。

総合医育成広域連携病院自由選択プログラムの魅力は、埼玉医科大学の3病院から自由に診療科を選択できることに加え、自由選択期間は3病院のほかに他大学病院や市中病院などから自分の目的に合った環境で研修できることです。

当院の初期研修医は埼玉医科大学出身の方が大部分を占めますが、皆とても親切かつフレンドリーで、アットホームな雰囲気の中でお互い助け合い・刺激し合いながら研鑽を積んでいます。ぜひ気軽に見学しに来ていただければと思います。



宮崎　茉莉
総合医育成広域連携病院
自由選択PG
Resident（帝京大学卒）

【埼玉医科大学３病院自由選択プログラムの研修医からのメッセージ】

私は3病院自由選択プログラムで研修を行っていますが、最大の長所は自由度の高さだと思っています。

埼玉医科大学病院、国際医療センター、総合医療センターの3病院はいずれも高度専門医療を提供する大型病院であり、選択次第でcommon diseaseだけでなく、興味のある疾患群を集中的に経験することもできます。

短所としては自由度が高すぎるために診療科選択に迷うことですが、事前に実際に現場で働いている研修医に相談することもできます。

私は他大学出身ですが、非常に親切な先輩研修医や同期に恵まれ、各診療科では多様な症例を経験させていただき、充実した研修を行っています。

病院見学は随時可能ですので、よろしければぜひいらして下さい。お待ちしております。

掛札　智裕
3病院自由選択PG
Resident（東海大学卒）

埼玉医科大学以外の大学出身者について

当院は出身大学に関係なく、みんなで協力し合いながら仲良く研修しています。また、学閥や診療科間の垣根もないのも魅力の一つです。

研修医の出身大学

埼玉医科大学、センメルワイス大学、愛知医科大学、杏林大学、岩手医科大学、金沢医科大学、山形大学、鹿児島大学、秋田大学、川崎医科大学、大分大学、中国医科大学、帝京大学、島根大学、東海大学、東京大学、東邦大学、藤田保健衛生大学、日本大学、東北大学、獨協医科大学、慶應義塾大学、千葉大学、旭川医科大学、（過去５年実績）
（2023年度研修医41名のうち学外出身者14名）

メッセージ【Message from Residents】

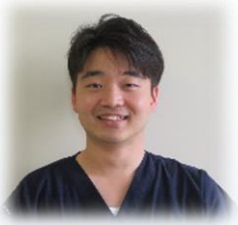
【研修医からのメッセージ】

埼玉医科大学病院の魅力は教育熱心な指導医が多く親身になって指導いただけることです！

色々な意見・最新情報をもった専門医のもとで日々、研修でき正しい知識と経験を積むことが可能です。

【埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラムの研修医からのメッセージ】

研修医にとって一番大切なことは何でしょうか。私は、将来進む科を含む全ての領域に少しでも多くかかわり、知識と経験を深めていくことだと思っています。
当院は埼玉の西部全域の医療を担い、多くの症例で急性期から慢性期までの患者様を診る「最後の砦」であるため、一般的な疾患から稀なものまで経験できる場だと感じています。
また大学病院の特長である教育にも非常に力を入れています。自身が所属する研究マインドプログラムでは、専攻医の先生方と同じ授業を受け、同じ場で研究成果の報告をし、同じ立場で議論ができるようにご指導をいただいています。
まだ専攻が決まらない、一つの科の知識を深めたい、研究に進むのか臨床に進むのか決まらない、興味がある科がいくつもある。その答えを見つける研修が、当院では必ず出来ると実感しています。是非一度、見学にいらして下さい。



山縣　洸
研究マインド育成自由選択PG
Resident（埼玉医科大学卒）

【埼玉医科大学３病院自由選択プログラムの研修医からのメッセージ】

私は埼玉医科大学の３病院自由選択プログラムで研修を行なっています。
このプログラムでは、特色の異なる埼玉医大の３病院の各科を自分の学びたいことや将来の進路希望に合わせて自由に選択することができます。
また、当院には教育熱心な先生やスタッフが多く、業務中に生じた疑問点やキャリアについての悩みなどについて質問をしやすい雰囲気もあるため、各分野の専門家の意見を聞きながら成長することができる環境となっております。
もし当院での研修に興味があれば、是非見学にいらしてください。

儘田　舜平
3病院自由選択PG
Resident（埼玉医科大学卒）

質問；市中病院ではなくて大学病院を選ばれた理由を知りたいです！

埼玉医科大学病院は大学病院として高度な医療を必要とする疾患を学べるのはもちろんですが、埼玉県西部を中心とした地域の医療を担う病院でもあり市中病院のようにcommon diseaseも沢山学べるため、ほかの大学病院より多くの症例を経験することができます。一次救急の初期対応等の経験も沢山でき、その際も大学病院の利点でもある医師数の層の厚さもあり、救急当直等を含めて常に上級医数名と共に研修を行う体制が出来ているので、市中病院を選ぶ理由がありませんでした。
やはり各臓器別専門診療科が揃い、沢山の専門医が在籍している環境で日々の研修中に色々な意見や知識をもった教育熱心な指導医に囲まれて最新情報・正しい知識を得ることがでるのは魅力です。各診療科における指導医が多いおかげで偏りの無い正しい知識習得に繋がります。当院は大学病院と市中病院の良い所取りの病院です。
また埼玉医科医大学の3病院から自由に診療科を選択できるので、自分の興味に併せた研修ができるのも魅力で埼玉医科医大学病院を選びました。

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学３病院自由選択プログラム

定員38名

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント１】

このプログラムはその名の通り埼玉医科大学３病院の各診療科を選択可能な研修医の自主性に任せた自由度の高いプログラムです。

【おすすめのポイント２】

将来の専門領域を決めている方、これから研修中にじっくりと決めようとしている方、全ての方におすすめの最も定員の多いプログラムです。
本学３病院はそれぞれ特色のある特徴をもった大学病院ですので、魅力ある研修をすることが可能です。さらに本学3病院に加えて豊富な協力病院・協力施設をローテートすることで、他に類をみない症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

●埼玉医科大学
3病院自由選択プログラム / 研究マインド育成自由選択プログラム / 総合医育成広域連携病院自由選択プログラム
（ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。）

年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	導入研修（4W）	内科必修研修（24W）						救急必修研修（12W）			外科必修研修（4W）	小児科必修研修（4W）	産婦人科必修研修（4W）
2年次	精神科必修研修（4W）	地域研修（4W）	自由選択研修（44W）										

【全てのプログラム共通の確認事項】

研修開始と最後の各4週を当院の診療科から選択し研修していただきます。
臨床研修制度により2年間の研修期間のうち合計で1年以上は当院の診療科を選択し研修していただきます。

※導入研修とは

当院では研修医（社会人）になりたての最初の1か月間を導入研修期間とし、当院の診療科（原則、全診療科から選択可能）で研修を開始していただきます。導入研修では電子カルテの操作及び基本的な手技、診察方法などを身につけることを目的としております。
また、この導入研修期間を利用して将来進みたい臓器別専門領域において必要なスキル習得に役立つ情報（アドバイス）や専門医になる前に遠回りでも初期研修医のうちに経験すべき専門領域外の診療科や地域医療、終末期医療等の経験の有効性、必要な情報を先輩医師へ相談・確認する期間としても想定しております。それらアドバイスの結果を踏まえて研修2年目に選択すべき地域医療研修や自由選択研修をどこにするのかを各自が早い段階で検討して、法で定められた初期研修制度を有効に活用し研修する一助にしていただきたいと考えております。

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラム 定員8名

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント１】

このプログラムは当院の指導医が検討した
初期臨床研修の神髄が込められたプログラムです。
このプログラムにより、研修医はバランス良く
“良医”になるための基盤を築くことができます。

【おすすめのポイント２】

将来、総合医を目指したい方や本学３病院で１年間研鑽を積んだ後、
2年目の自由選択研修期間に他大学の診療科にて研修したい方
意欲的に研修し良医になるための基盤を築きたい方におすすめです。

このプログラムは、１年目から本学３病院の診療科をローテートでき、
2年目の自由選択で本学3病院に加え、他大学の診療科をローテート出来る
贅沢な研修（恵まれた選択）を可能とするプログラムです。

本学３病院はそれぞれ特色のある特徴をもった大学病院ですので、
本学３病院だけでも魅力ある研修をすることが可能です。
そのうえ、本学３病院＋他大学の診療科、さらに加えて
豊富な協力型病院・協力施設をローテートすることで、他に類をみない
経験や、症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

【自由選択研修：選択可能な大学病院と診療科】

▶埼玉医科大学病院群（埼玉医科大学病院、総合医療センター、国際医療センター）における原則全診療科

▶群馬大学医学部附属病院　：消化器・肝臓内科、循環器内科、腎臓・リウマチ内科、血液内科、脳神経内科、内分泌糖尿病内科、呼吸器・アレルギー病内科、精神科神経科、小児科、循環器外科、呼吸器外科、消化管外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、核医学科・画像診断部、産科婦人科、麻酔科蘇生科、脳神経外科、集中治療部、救命・総合医療センター（救急部門）、救命・総合医療センター(総合診療部門)、病理部、臨床検査医学・検査部・感染制御部、リハビリテーション部、臨床試験部

▶信州大学医学部附属病院　：内科（1）呼吸器･感染症内科･アレルギー内科、内科（2）消化器内科、血液内科、腎臓内科、内科（3）脳神経内科、リウマチ･膠原病内科、内科（4）糖尿病・内分泌代謝内科、内科（5）循環器内科、精神科、小児科、皮膚科、放射線科、外科（1）消化器外科、移植外科、小児外科、外科（2）心臓血管外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、産科婦人科、麻酔科蘇生科、形成外科、救急科・高度救命救急センター、総合診療科、臨床検査部、包括的がん治療学講座

▶慶應義塾大学病院　：呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・内分泌・代謝内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、一般・消化器外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、麻酔科、整形外科、形成外科、小児科、産科婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神・神経科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科、救急科、中央臨床検査部、病理診断部、漢方医学センター、血液浄化・透析センター、感染制御センター

▶日本大学医学部附属板橋病院　：総合科（内科・外科）、呼吸器内科、血液・膠原病内科、腎臓･高血圧・内分泌内科、消化器・肝臓内科、糖尿病・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、精神神経科、小児科、消化器外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、救命救急センター、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、放射線科、病理診断科、臨床検査医学科、形成外科、乳腺内分泌外科、小児外科

▶獨協医科大学病院　：心臓・血管内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、脳神経内科、内分泌代謝内科、呼吸器・アレルギー内科、精神神経科、皮膚科、放射線科、感染制御・臨床検査医学（感染制御センター）、小児科、第一外科、第二外科、心臓・血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、産科婦人科、麻酔科、救急科（救命救急センター）、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、健康管理科、病理学（部）

▶岩手医科大学附属病院　：消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科、血液・腫瘍内科、神経内科、老年内科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、精神神経科、麻酔科、救急科、臨床検査科、病理診断科

▶東海大学医学部付属病院　：循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、リウマチ内科、脳神経内科、総合内科、腎内分泌代謝内科、心臓血管外科、移植外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科（産科・婦人科）、眼科、皮膚科、泌尿器科、救命救急科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線治療科、画像診断科、麻酔科、リハビリテーション科、臨床検査科、病理診断科

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラム

定員3名

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント１】

このプログラムは初期臨床研修と社会人大学院生を両立したい方、
志を高く持ち、少ない時間を有効に使い、自分の可能性を信じて、
若いエネルギーで邁進する方にはお勧めです。

【おすすめのポイント２】

このプログラムは、初期臨床研修を優先し、夜間や休日など
臨床研修の行われていない時間を利用して
研究（基礎または臨床）も行うという主旨のプログラムです。
このプログラムに参加することで、社会人大学院生として、
1年目は研修中心としてオフタイムに合わせて夜間開講の大学院講義などを受け、
2年目の自由選択時期から臨床研修の行われていない時間を利用して専門的な研究
への第一歩を踏み出すことも可能になります。

勿論、「二兎を追うものは一兎も得ず」にならない様に
初期臨床研修を優先して最大限の配慮をします。

初期臨床研修と研究は誰でも出来るとは考えていませんが、
大変な分、将来への実りも大きいです。

基礎医学に進もうと思っている人のみならず、臨床医にとっても
研究マインドは一生涯を通じて必要欠くべからざるものです。

このプログラムで選択可能な病院・診療科は３病院自由選択プログラムと
原則同様です。

【注意点】
このプログラムにおける採用（研修開始）の条件として、
研修開始前に埼玉医科大学の大学院入学試験に合格
しておく必要があります。
埼玉医科大学の大学院入学試験その他大学院履修の詳細は
埼玉医科大学の大学院案内等をご参照ください。

大学院に関するお問い合わせは
埼玉医科大学大学院担当へご質問ください。

埼玉医科大学　大学院の
HPへのQRコード

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学基礎研究医プログラム 定員1名

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント１】

このプログラムは初期臨床研修と基礎系の社会人大学院生を両立したい方、
基礎研究医を目指すことを考えている方を対象とし、基礎系大学院へ入学し、
それと同時に本プログラムを並行して研修することにより、
臨床研修を行いながら、途切れることなく継続して、
基礎医学に従事する医師を目指すことの出来るプログラムです。

【おすすめのポイント２】

１年目には臨床研修を行いながら夜間の大学院講義に出席する程度に留め、
2年目で基礎医学研究を開始する前（２年目中間）に、
臨床研修の到達目標の到達度評価を行い、
臨床研修修了基準に到達していると確認出来た後に、
基礎医学の研究に最大20週間費やすことが出来る
大学病院本院に限り設置が認められた特別プログラムです。

※通常のマッチングとは分けて選考を行います。（ご希望の場合は臨床研修センターへお問合せください）

●埼玉医科大学 基礎研究医プログラム

（ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。）

年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	導入研修（4W）	内科必修研修（24W）						救急必修研修（12W）			外 科（4W）	小児科（4W）	産婦人科（4W）
2年次	精神科（4W）	地域研修（4W）	自由選択研修（臨床研修）（24W）						選択研修（基礎医学研修）（20W）				

選択研修（基礎医学研修）：埼玉医科大学（法医学、解剖学、薬理学、生化学、免疫学、病理学、微生物学、生理学）

【注意点】
このプログラムにおける採用（研修開始）の条件として、
研修開始前に埼玉医科大学の大学院入学試験に合格
しておく必要があります。
埼玉医科大学の大学院入学試験その他大学院履修の詳細は
埼玉医科大学の大学院案内等をご参照ください。

大学院に関するお問い合わせは
埼玉医科大学大学院担当へご質問ください。

埼玉医科大学　大学院の
HPへのQRコード

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学周産期・成育医療専門医自由選択プログラム

定員4名

【おすすめのポイント１】

このプログラムは将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある初期臨床研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。本学３病院の他に他大学の診療科を選択することが可能です。

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント２】

本プログラムは単に周産期医療・成育医療に関連した研修期間が長いだけでなく、将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導が行われます。ただし、後期研修における専攻科を強制するものではありません。

●埼玉医科大学 周産期・成育医療専門医自由選択プログラム／定員　4名

（ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。）

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	導入研修（4W）	内科必修研修（24W）						救急必修研修（12W）			外科必修研修（4W）	精神科必修研修（4W）	周産期・成育医療研修（4W）
2年次	地域医療（4W）	周産期・成育医療研修（48W）											

【周産期・成育医療研修：選択可能な病院と診療科】

合計52週間、以下病院の小児科部門と産婦人科部門をおのおの最低8週以上研修し、
かつ当院の産婦人科と小児科で必ず4週以上研修する。
なおこれ以外の研修先は、プログラム責任者と相談のうえ埼玉医科大学病院の診療科より決定する。

▶埼玉医科大学病院（産科・婦人科、小児科、NICU、小児外科）
▶総合医療センター（産婦人科、総合周産期母子医療センター母体・胎児部門、総合周産期母子医療センター麻酔科部門、小児科、総合周産期母子医療センター新生児部門）
▶国際医療センター（婦人科腫瘍科、小児心臓科、小児腫瘍科）

以下の病院の研修期間は、１施設4週以上とし合計3病院（12週）までとする。
▶群馬大学医学部附属病院　（産科婦人科、小児科）
▶信州大学医学部附属病院　（産科婦人科、小児科）
▶慶應義塾大学病院　（婦人科、産科、小児科）
▶日本大学医学部附属板橋病院（産婦人科、小児・新生児病科）
▶獨協医科大学病院　（産科婦人科、小児科）
▶岩手医科大学附属病院　（産婦人科、小児科）
▶東海大学医学部付属病院　（産婦人科、小児科）
▶鹿児島市立病院　（産婦人科、新生児内科）

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学病院外科系プログラム 定員2名

プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント１】

このプログラムは外科領域の研修に重点をおいたプログラムであり、
外科系診療科をはじめとし
麻酔科、救急での研修を行うことができます。

【おすすめのポイント２】

このプログラムは外科専門医取得において重点をおくべき消化器外科は必須で
必修研修として当院の消化器・一般外科を8週間研修していただきます。
その他の必修研修期間や自由選択研修期間は
原則、埼玉医科大学3病院の診療科から選択することが可能です。
2年目の外科系選択研修では、
心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の他、
整形外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科を選択し
研修することが可能です。
初期臨床研修において、
すべての外科症例を経験することは不可能ですが、
今後の専門医取得に向けた後期研修に
スムーズに移行できるプログラムを目指しています。

●埼玉医科大学病院 外科系プログラム／定員　2名
（ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。）

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	導入研修（4W）	内科必修研修（24W）						救急必修研修（12W）			麻酔科必修研修（8W）		外科必修研修（4W）
2年次	外科必修研修（4W）	小児科必修研修（4W）	産婦人科必修研修（4W）	精神科必修研修（4W）	地域医療（4W）	外科系選択（20W）					自由選択研修（12W）		

協力型病院・協力施設【 Training Institutions】

【ポイント】
恵まれた学内の連携体制

埼玉医科大学病院群相互連携

埼玉医科大学医学教育センター
埼玉医科大学医療人育成支援センター

共同主催

- 埼玉医科大学病院群の指導体制整備：埼玉医科大学病院群臨床研修指導医講習会開催（1回/年）
- 研修医の診療手技向上：腹部超音波・消化器内視鏡 実践セミナー開催（1回/年）
- 研修医・専攻医の診療能力向上（心肺蘇生と重篤な急性疾患・病態悪化への適切対応等基礎習得）：埼玉医科大学JMECC開催 （3回/年）

埼玉医科大学医療人育成支援センター

- 研修環境の支援：UpToDate使用環境整備、研修医海外留学制度、優秀研修医表彰制度、等
- 女性医師支援：女性医師支援に関するサポート、相談窓口を開設
- 医療人育成支援センター運営会議開催（11回/年）（卒前部門、初期臨床研修部門、キャリア形成支援部門、生涯学習部門、女性医師支援部門、シミュレーション教育部門、地域医学推進センター、地域枠奨学金部門、基礎医学部門との連携）

協力体制

埼玉医科大学 病院群臨床研修センター

協力型（基幹型）
埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター

協力型（基幹型）
埼玉医科大学国際医療センター

臨床研修センター

臨床研修センター

基幹型
（協力型）
埼玉医科大学病院

Your Happiness is Our Happiness
Since1892
Saitama Medical University

協力施設　　後方支援・協力体制

丸木記念福祉メディカルセンター

協力型病院・協力施設【 Training Institutions】

【ポイント】
圧倒的な連携体制

本学３病院（一部のプログラムは3病院に加えて他大学の診療科）と、
豊富な協力型病院・協力施設をローテートすることで、他に類をみない経験や、
症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

協 力 施 設

▶埼玉県内施設：
帯津三敬病院/関越病院/埼玉よりい病院/坂戸中央病院/シャローム病院/
新久喜総合病院/秩父市立病院/秩父病院/小鹿野中央病院/原田病院/
光の家療育センター/東松山市立市民病院/丸木記念福祉メディカルセンター/
東埼玉総合病院/荒船医院/岡村記念クリニック/越生メディカルクリニック/
鶴ヶ島在宅医療診療所/ハーモニークリニック/ゆずの木台クリニック/
HAPPINESS館クリニック/保健所/埼玉県赤十字血液センター/育心会/
薫風園/埼玉医科大学訪問看護ステーション/
健診実施施設：埼玉医科大学病院予防医学センター

▶北海道内施設：大川原脳神経外科病院

▶東京都内施設：新渡戸記念中野総合病院

▶千葉県内施設：たむら記念病院

▶新潟県内施設：新潟病院

▶長崎県内施設：
小値賀町国民健康保険診療所/青洲会病院/富江病院/奈留医療センター

▶鹿児島県内施設：南さつま市立坊津病院

▶沖縄県内施設：宮古島徳洲会病院/沖縄県立八重山病院

協 力 型 病 院

▶埼玉医科大学病院群：
総合医療センター/国際医療センター

▶埼玉県立4病院及び埼玉県内赤十字2病院：
埼玉県立小児医療センター/
埼玉県立精神医療センター/
埼玉県立がんセンター/
埼玉県立循環器・呼吸器病センター/
さいたま赤十字病院/
小川赤十字病院

▶他大学等病院：
（プログラムにより制限があります）
群馬大学医学部附属病院/
信州大学医学部附属病院/
慶應義塾大学病院/
日本大学医学部附属板橋病院/
獨協医科大学病院/
岩手医科大学附属病院/
東海大学医学部付属病院/
鹿児島市立病院

指導体制【Style of Training】

【ポイント】
充実の指導体制・サポート体制

▶研修指導医◀

埼玉医科大学病院の指導医は担当する分野における研修期間中に上級医と協力の上、研修医毎に臨床研修の目標の達成状況を把握し、研修医に対する指導を行います。また、研修医の健康状態に留意し研修環境を調整します。なお、EPOC評価入力を担当するとともに研修の全体評価を委員会へ報告します。

※指導医の条件
埼玉医科大学病院の指導医は、臨床経験7年(84ヶ月)以上の経験を有した医師であり、また、厚生労働省が認めた臨床研修指導医講習会を受講した者です。

【ポイント】埼玉医科大学病院群では年1回、厚生労働省の承認を得て臨床研修指導医講習会を開催し、本学３病院の指導医を約30名養成、指導体制を強化しております。

▶研修上級医◀

埼玉医科大学病院の上級医は、研修期間中チームの一員として指導医と共に日々の指導を行います。

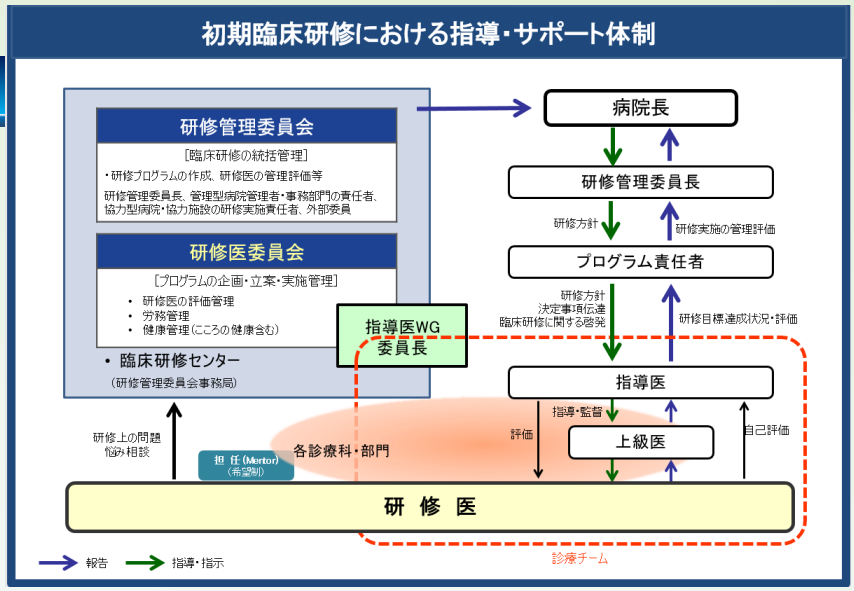
【ポイント】埼玉医科大学病院では屋根瓦式教育を行っており、指導医・上級医と共にチームとなり研修を行っております。

▶担任制度(Mentor制度)◀

埼玉医科大学病院では担任制度を利用することができます。（希望制）

担任と研修医との間で「こころの交流と情報の交換の場」を実現することを目標としています。

万一問題が生じた時に、担任が研修医の相談窓口となるためにつながりを作っておきます。



- 担任は5名までの研修医を受け持つ事ができます。
- 担任は研修医の希望を基に人生の先輩として相談しやすい医師(教授以外)より選ぶ事ができます。
- 担任は年に2回程度、研修医との交流の場を設けます。
- 担任は研修医に問題(研修内容、勤務内容、心身の健康、経済、事故、人間関係等々)が生じた時、適切な相談窓口を紹介します。
- 担任は、受け持ち研修医に関する報告書を委員会に提出します。

【ポイント】他大学出身の方がご利用しやすいように、ご希望により臨床研修センターにておすすめの担任を紹介するなどのサポートも行います。お気軽に相談してください。

指導体制【Style of Training】

【ポイント】
充実の指導体制・サポート体制

※入職時オリエンテーションは1年目研修開始から1週間

医師として身につけておくべきことを中心に講義が行われます。
講義の他にもME（Medical Engineering）機器取扱い輸液管理研修、
手技トレーニング・縫合結紮（けっさつ）セミナー、
BLS（一次救命処置）研修、電子カルテの操作説明等が行われます。

※導入研修とは1年目研修開始から4週間

基本的な手技、診察方法などを身につけることを目的としています。
また、将来の臓器別専門領域を既に決めている方は、その領域の診療科を選択し将来役立つと思われるスキル習得に必要な情報やローテート先（診療科・施設）など、先輩医師と相談し2年目の自由選択研修診療科等を決定する際のアドバイスを受ける期間とすることも可能です。

※ランチョンセミナー

毎週木曜日のランチタイムに初期研修医対象のセミナーを実施しています。初期研修で必要な知識や臨床研修到達目標の項目より担当する診療に科該当する症候・疾患についての内容にて実施しています。

※CPCカンファレンス（臨床病理検討会）

年間11回8月を除く毎月開催されます。臨床研修ガイドラインにより、研修医として関わりをもった症例について各人で症例呈示、CPC症例サマリー作成が求められています。

※腹部超音波・消化器内視鏡実践セミナー

診療手技向上を目的として初期研修医対象に毎年実践セミナーを実施しています。

※JMECC（Japanese Medical Emergency Care Course）

初期研修医・内科専攻医対象に毎年3回実施しています。

※基本的臨床能力評価試験（GM-ITE®）

臨床研修のアウトカムの客観化を目的に全員必須で実施しています。

※ハンズオンセミナー

初期研修医対象に各診療科にて企画し実施しています。

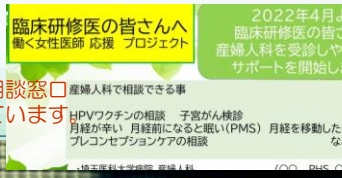
※学会参加率の向上と学会発表（論文作成）指導

ローテート先診療科が参加する各学会に同行参加可能な他、論文作成等の指導を受けることができ、学会発表の機会も与えられます。

キャリア形成サポート

埼玉医科大学病院群は、埼玉医科大学病院・埼玉医科大学総合医療センター・埼玉医科大学国際医療センターの３つの独立した機能を持った異なる病院の集合体で、合計で約２７００床を有する大規模なメディカルセンターを形成しており、それぞれの特徴を生かした専門性の高い、総合的な医療をおこなっています。研修医は、これらの病院で多様な経験を積むことができます。また、初期研修に適した臨床研修病院として、毎年多くの研修医を受け入れており、次年度のプログラムも3病院それぞれ特色のある特徴を生かした研修プログラムが用意されています。そして、病院群は新専門医制度における１９基本領域の全てにおいて基幹型病院となっており、初期研修修了後は希望により、そのまま3病院のいずれかの診療科において専攻医（常勤）として継続することも可能です。

３病院の専門医研修プログラムの特徴としては、症例数の多さ・多彩さ、専門医の多さと質の高さ、高度な医療内容と設備、埼玉県随一の規模を誇るシミュレーショントレーニングセンターを持ち、診療手技セミナー開催、基礎研究・臨床研究等の研究体制が身近にあることで統計的なサポートも含め、論文執筆に苦労しないことなどです。
３つの病院には、それぞれの機能を有効に使った初期・後期の研修プログラムがあり、３病院やそれぞれの連携施設をローテートすることで、他に類を見ない症例数の多さと多彩さで、効率的な初期研修及び専門医研修を行うことができます。



初期研修修了後にも、社会人大学院制度を利用して、専門医研修を行いながら学位取得も可能です。
さらに、各キャンパス内保育園完備、時間勤務が可能な勤務制度（常勤時短）、産婦人科女性医師による相談窓口の設置など、女性医師支援体制も充実しています。

【　初期から後期のキャリア進路例　】

医師免許取得後年数	1・2年目	3～5年目	6・7年目～
進路モデル	初期臨床研修	基本19領域 専門研修	サブスペシャルティ29領域 専門研修
社会人大学院	大学院（4年間）※開始時期は選択することができる		
埼玉県地域枠奨学生	埼玉医科大学3病院（専門研修中の3年間は大学勤務をカウントできる）合計が9年になれば返済免除		

専攻医専門研修修了後　本学３病院以外の指定地域医療機関

施設紹介【Introduction of Facilities】

【ポイント】
充実した研修を実現する
大学病院ならではのアカデミックな環境と
県内最大級の規模を誇る手技トレーニング施設

埼玉医科大学病院は大学の本院であり、大学附属図書館やシミュレーショントレーニングセンターの利用が可能でみなさんに恵まれた研修環境が用意されています。また、当院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担うと同時に、特定機能病院といて埼玉県西部から北部地域を中心とした埼玉県全域の医療も担当しています。

埼玉県人口は734万人を数え、当院には多くの患者が来院するためcommon diseaseから専門性の高い症例まで多種多様な疾患を数多く経験できます。
また、医師層も厚く、熱心な指導医が多いのも自慢の一つです。
当院には専門医制度にマッチした診療科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴ある科が充実している他、県内最大級のシミュレーショントレーニングセンターでのセミナー等も開催しています。

埼玉医科大学病院は緑あふれる自然豊かな落ち着いた環境下で研修をすることができます。
2019年に全面改装を行った広々とした宿舎も病院の敷地内にあり通勤時間短縮につながります。
また、約1時間で都内に行くことも可能で、学会等へ参加し易いアクセスの良い環境にあります。
このような環境の下、多くの医師や研究者が日々臨床や研究に励んでいます。

※このアクセスの良さと、恵まれた研修環境は埼玉医科大学病院の魅力の一つで臨床研修を行うにも、最適な環境と言えます。

研　修　環　境

研修医の宿舎

病院敷地内にあり（2019年に内装を全面改装した広々とした宿舎です）、
机、ベット、キッチン(IH)、冷蔵庫、
エアコン、バス、トイレを完備しています。

24時間の管理人常駐、有料のコインランドリー設置有、共同キッチンスペース有、

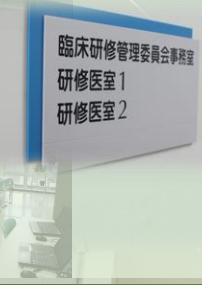
その他、インターネット契約可能です。

個室48室　月額2万円（光熱水費を含み・掃除・リネンサービス込みです）

※月2万円の補助有

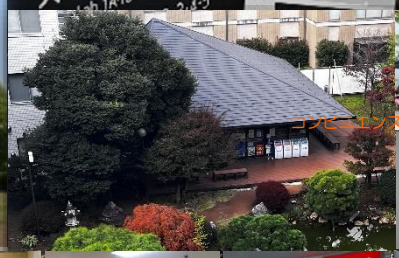
研修医室

研修医個人専用の机、
ロッカー完備、
電子カルテ、
共用パソコン
(インターネット接続可能)8台設置、
研修医専用当直室・
シャワー室完備
(男女別)



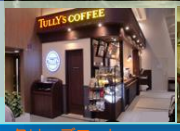
院　内　施　設

シミュレーショントレーニングセンター（スキルスラボ）



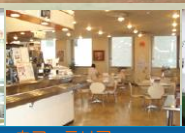
コンビニエンスストア（ローソン）

郵便局

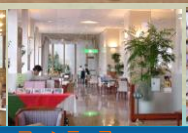


タリーズコーヒー

喫茶



カフェテリア



フォンテーヌ

書店

売店

ATM

ゆうちょ銀行

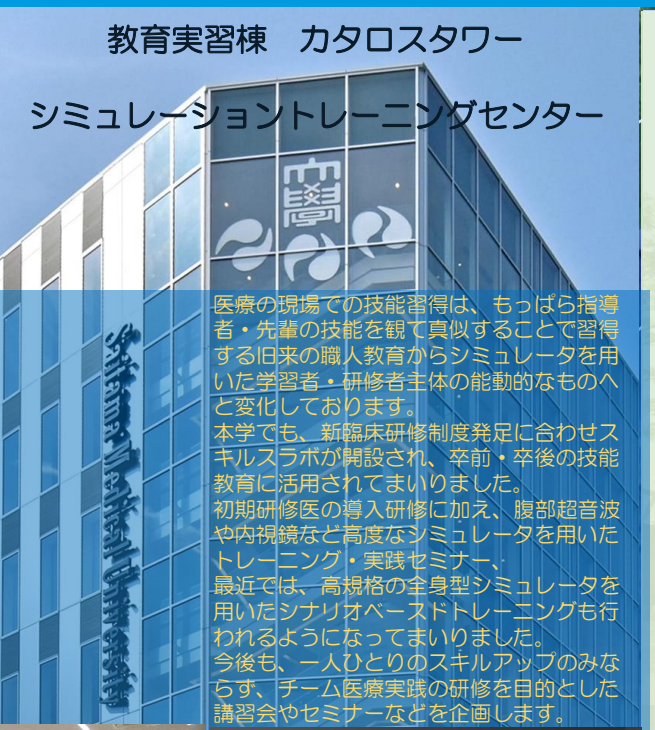
施設紹介【Introduction of Facilities】

【ポイント】
大学病院ならではのアカデミックな環境

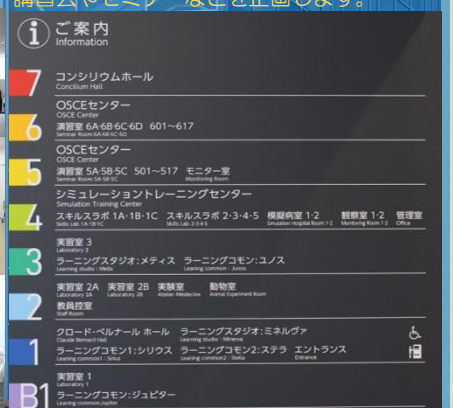
埼玉医科大学病院は大学の本院という利点を生かしたキャリア形成サポートにも力を入れています。卒前から卒後そして生涯教育へと切れ目無く繋がる医療人の教育・育成は、大学および教育病院において極めて重要な課題と考えております。

教育実習棟　カタロスタワー

シミュレーショントレーニングセンター



医療の現場での技能習得は、もっぱら指導者・先輩の技能を観て真似することで習得する旧来の職人教育からシミュレータを用いた学習者・研修者主体の能動的なものへと変化しております。
本学でも、新臨床研修制度発足に合わせスキルスラボが開設され、卒前・卒後の技能教育に活用されてまいりました。
初期研修医の導入研修に加え、腹部超音波や内視鏡など高度なシミュレータを用いたトレーニング・実践セミナー、
最近では、高規格の全身型シミュレータを用いたシナリオベースドトレーニングも行われるようになってまいりました。
今後も、一人ひとりのスキルアップのみならず、チーム医療実践の研修を目的とした講習会やセミナーなどを企画します。



図書館（電子コンテンツ）

図　書　館

日々の診療から学会発表や論文執筆などにおいて先輩たちが有効利用しています！

◆電子ジャーナル
図書館 HP の「ジャーナルタイトル検索」から検索可能

◆EBM ツール
UpToDate：エビデンスに基づいた臨床意思決定支援情報源

Current Decision Support：次世代診療マニュアル 全処方薬の薬剤情報と診療報酬情報の検索が可能

◆電子教科書(電子ブック)
Access Medicine：医学分野の電子教科書約 95 タイトルが閲覧可能(ハリソン内科学など)
今日の診療 Web 版：今日の診療ほか、医学書院の書籍 14 冊の閲覧可能
MERCK MANUALS：Merck 社発行の総合医学書
メディカルオンラインイーブックスライブラリー：国内の医学・医療関連の電子書籍を約 7,000 冊閲覧可能で、設定した My ページの ID/パスワードでリモートアクセス可能
Maruzen eBook Library ：学術雑誌に特化した機関向け電子配信サービス（ アカウントを作成することでリモートアクセス可能）

◆学習ツール
Visible Body：Human Anatomy Atlas 2021 解剖学的構造を 3D で可視化した学習ツール

◆文献検索(海外文献)
Cochrane Library:コクラン Cochrane が作成する良質なシステマティック・レビュー
PubMed：MEDLINE の一般公開版、世界の主要医学系雑誌掲載の文献の検索
PubMed for Handhelds：PubMed を PICO で検索
Scopus：科学･技術･医学･社会科学･人文科学の抄録･引用文献検索
CINAHL：看護学および健康関連分野の英文データベース

◆文献検索(国内文献)
医学中央雑誌 Web 版：国内の医・歯・薬学及び関連領域の文献情報検索（1977 年～）（ ID とパスワードでリモートアクセス可能）
JDream3-JMED /MEDLINE/JST：科学技術や医学･薬学等について国内外の文献を検索
最新看護索引 Web：看護文献データベース、看護学会論文集第 42 回～(本文閲覧可能)
メディカルオンライン：医学文献検索(本文閲覧可能)、国内医学雑誌 1,561 タイトル（設定した My ページの ID/パスワードで学外からのリモートアクセス可能）
医書.jp：医学書院、メディカル・サイエンス・インターナショナル、三輪書店刊行の雑誌が閲覧可能（ ID とパスワードでリモートアクセス可能）
CiNii Articles：学協会・大学などで発行の学術雑誌、研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引を検索
NDL-OPAC(NDL ONLINE)：国立国会図書館オンラインで国内発行の出版物を検索
Google scholar：論文・書籍・要約・記事など学術資料の検索
厚生労働科学研究成果データベース：厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の概要版、本文の閲覧・検索

◆雑誌の影響力調査
Journal Citation Reports：学術雑誌の ImpactFactor を調査

◆研究業績の評価・分析
Essential Science Indicators：研究分野に応じた影響力のある個人、組織・機関、論文、刊行物、最新研究領域を調査できる

◆判例検索
D1-LAW.com：現行法規、判例体系、法律判例文献情報が利用可能

◆文献管理ツール
RefWorks：Web ベースの文献管理ツール、学外からでも自分の ID でログインし、調査・研究に使用した資料の記録を RefWorks サーバに置くことができる
EndNote Basic： Web ベースの文献管理ツール、学外からでも自分の ID でログインし、調査・研究に使用した資料の記録を EndNote サーバに置くことができる

埼玉医科大学附属図書館QRコード

指導医層が厚い大学病院での研修をおすすめします。

研修修了者メッセージ

埼玉医科大学病院では、地域に寄り添った医療体制が整っており、頻度の高い疾患から大学病院ならではの複雑な症例の診療にも参加することが出来、将来の希望科以外の領域の知識を深めるにも最適な環境となっています。
各科の指導医は熱心に指導してくださり、診療科数の豊富さから、他科へのコンサルテーションで得られる知識も多いです。
また、救急当直では様々な診療科の上級医と一緒に患者を診察するため、毎回、学び得ることが多くあります。
国際医療センター、総合医療センターを含めた3病院間のカルテは必要に応じて情報を共有でき、患者の背景を読み取ることで勉強の幅を広げることが可能です。救急科と内科・外科、緩和科や精神科などの協力体制により入口から出口さらに在宅まで、1人の患者の抱える多くの問題に対応できる病院であることも、当院での研修を選んで良かったと思える点です。

内藤　友亮　埼玉医科大学病院3病院自由選択PG　Resident　2020（埼玉医科大学卒）
臨床研修修了後進路　埼玉医科大学病院救急科専攻医

病院管理者からのメッセージ

埼玉医科大学には3つの急性期病院がありますが、『すべての病める人に、満足度の高い医療を行う』という共通の基本理念を持って病院を運営しています。

埼玉医科大学病院は、教育の中枢かつ特定機能病院として活動しながらも、地域医療の最後の砦としての役割も果たしています。
川越キャンパスにある総合医療センターは、ドクターヘリが常駐する高度救命救急センターと東洋一の総合周産期母子医療センターを有し、県内全域の医療の中心的役割を果たしています。
大学病院から2km余り離れた日高キャンパスにある国際医療センターは、がん、脳卒中、心臓病、救命救急に特化した病院で、先進的医療を実践しつつ、日本の大学病院として初めて国際的病院認証（JCI）を取得しました。
3病院はその特徴に応じた診療活動を展開しているため、各病院の専門診療科は得意とする分野が少しずつ異なります。このような特徴を最大限に活用していただくために、初期臨床研修においてはどの病院に所属していても、3病院の診療科を自由に行き来して研修できる「埼玉医科大学3病院自由選択プログラム」を準備しております。従って、診療科ごとに自分の学びたい研修に合わせて、病院の枠を超えて、また指導者を選んで研修を進めることができます。このため、このプログラムは毎年たくさんの研修医に支持され、各病院とも最も多くの研修医が参加しています。

埼玉医科大学病院の特徴は、大学病院本院として特定機能病院に課せられた、「高度の医療の提供」「高度の医療技術の開発及び評価」及び「高度の医療に関する研修」の3つの機能を発揮しつつ、埼玉県西部地域の中核病院として多くの救急患者を受け入れ、日常良く遭遇する疾患（いわゆるcommon disease）の症例数に恵まれていることです。
2006年に新設された総合診療内科は、年を経るごとに陣容を整え、現在では指導スタッフ数や病床数は内科系最大の診療科となっています。一方、当院の救急医療は、「救急センター・中毒センター」として活動してきましたが、2021年4月から「救急センター」及び「臨床中毒センター」に分かれ、さらに活動を強化しています。救急科を中心とした全ての診療科の協力の元に、三次救急以外のあらゆる救急患者に対応できる体制となっていますが、特に薬物中毒や精神科救急を積極的に受け入れている点に特徴があります。
2016年春には外来診療を主体とする東館がオープンし、総合診療内科の外来・病棟、救急センター・臨床中毒センター、こどもセンター、内科外来、アレルギーセンター、アイセンター、女性ヘルスケアセンター、リプロダクションセンター、難病センター、てんかんセンター、高齢者総合診療センター、さらに内視鏡センター、腎センター・血液浄化ユニットなどが設けられ、診療科横断的な患者中心の医療を実践しつつあります。また、以前から埼玉県の感染症指定医療機関、肝疾患連携拠点病院でしたが、2018年度には埼玉県のアレルギー疾患医療拠点病院、てんかん診療拠点機関、難病診療連携拠点病院の指定を受けました。

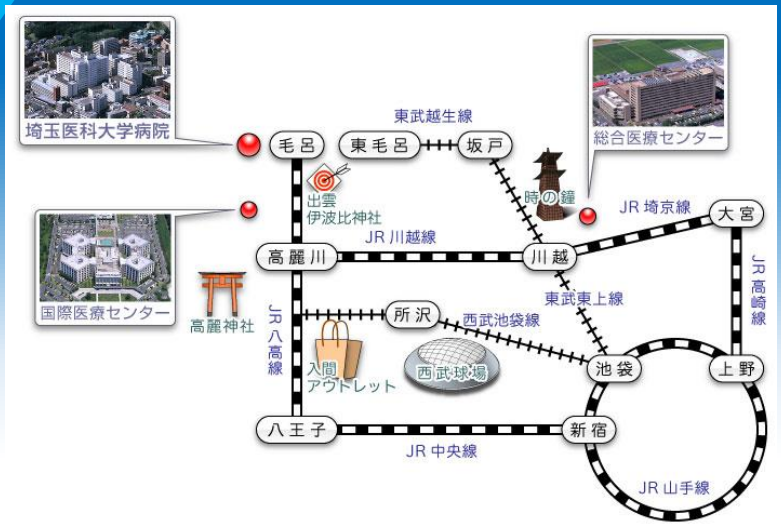
研修プログラムは、「3病院自由選択プログラム」の他に、初期研修医の期間も社会人大学院生として学び、4年後には学位が取得できる「研究マインド育成自由選択プログラム」、総合医の育成を目指す「総合医育成広域連携病院自由選択プログラム」、「周産期・成育医療専門医自由選択プログラム」、「外科系プログラム」を準備しております。いずれのプログラムに参加していただいても、当院では、建学の理念である「師弟同行」を実践しながら、「すぐれた実地臨床医家」を目指して研修に取り組んでいただくことができます。

埼玉医科大学では、2012年から整備されたシニアレジデント制度により、卒後3年目から4年間、3病院で1学年100名までの専門医取得を目指すシニアレジデントを有給の助教として採用してきました。2018年度から新専門医制度が導入され専攻医と名称は変わりましたが、この方針は維持されています。従って、埼玉医科大学3病院で初期研修を開始していただけば、そのまま専門医取得まで安心して勤務することができます。今後当院では、将来的な専門診療を睨んだ研修は勿論ですが、より全人的な医療、診療能力、何でも診るという意気込みや実力を身につける、これらを研修医の先生や若い先生に強く希望し、求めていきます。そのために、現在の診療体制や研修プログラムをさらに発展させ、社会のニーズに合った当院独自の特徴ある体制構築をしていく所存です。

将来研修医の方がどのような道に進んでも、当院で研修をしたことが必ずプラスになり、誇りと自信を持って医師の道を歩めるよう、病院全体で支援していきます。当院での初期研修が皆さんにとって実り多いものになることを確信しています。宜しくお願い申し上げます。

埼玉医科大学病院　病院長 篠塚　望

交通アクセス



埼玉医科大学病院

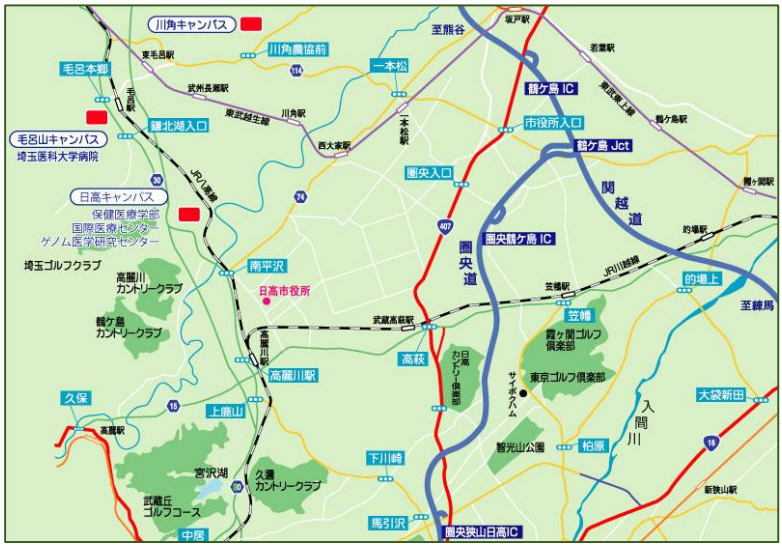
▶電車を利用される方

池袋駅より東武東上線をご利用の場合
①池袋駅より急行で坂戸駅まで約44分
②坂戸駅で東武越生線に乗り換えて東毛呂駅まで約15分
③東毛呂駅前より『埼玉医科大学行き』のバスに乗り、
　約5分で到着（徒歩の場合は約20分）

八王子駅よりJR八高線をご利用の場合
①八王子駅より高麗川駅（川越方面行き）まで約43分
②高麗川駅で高崎方面行きに乗り換えて、毛呂駅まで約6分
③毛呂駅から徒歩約3分で到着

▶お車を利用される方

※カーナビなどに行き先登録する場合は、
　こちらを入力してください。
　↓
名称：サイタマイカダイガクビョウイン
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
電話：049-276-1111（番号案内）



各インターからのご案内
埼玉医科大学病院HPへの
QRコード

病院見学・お問い合わせ先

埼玉医科大学病院への病院見学について

見学は随時可能です。
但し、見学申込書（当院所定）を必ず見学希望日の**3週間前まで**にお送りください。
原則1日につき1診療科とさせていただきます。
なお、担当する診療科の医師などの都合により、
ご希望の日程で見学ができない場合がありますので、予めご了承ください。

病院見学について
埼玉医科大学病院
臨床研修センターHPへの
QRコード

病院見学に関する詳しい内容は
当院臨床研修センターHPをご確認ください。

お問い合わせ先について

埼玉医科大学病院 臨床研修センター事務室
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
電話：049-276-1862（直通）
FAX: 049-276-2149
E-mail: kenshui@saitama-med.ac.jp

お問い合わせ先メールアドレス
埼玉医科大学病院　臨床研修センター事務室への
QRコード

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL
RESIDENT
PROGRAM INFORMATION

初期研修の2年間は優れた臨床医として医師が一生を有意義に送るための土台となる極めて重要な時期であり、
一人ひとりの研修医が本プログラムによって実り多い研修成果を達成することを期待いたします

Saitama Medical University Hospital

Your Happiness is Our Happiness

Saitama Medical University